

美しい秋の夕暮れはあっという間に過ぎ、夜空が綺麗な時期になりました。昨年と比較すると秋の催物が実施できて嬉しいですが、まだコロナ流行前の状況に戻るには少し時間がかかってしまいそうですね。この冬にひどくならないように願ひ、出来る限りの対策をしていきましょう。

第48回豊橋市民お月見会を開催しました。

第48回豊橋市民お月見会を開催し、今年も多くのご応募をいただきました。短歌85首、川柳92句、俳句129句の中から「特選」「秀逸」「佳作」「学生の部 優秀賞」がそれぞれ選ばれました。

特選作品ご紹介

【短歌の部】

焼捨と言う名の駅に月待てど雨の鉄路はただ雨はこぶ
戸田恵子

(戸田さんコメント)

旅行社の更科紀行をもとに芭蕉の句碑をたずねる企画に参加したことがきっかけです。俳句の心得はほとんどありませんが、それが返って興味につながったと思います。9月22日は今年の名月の十六夜でした。宿について夕食後雨の中を山へも向かいましたが千曲の町を見下ろしただけで帰山しました。月を見る名所と言われる焼捨駅のホームで月を待ちました。いくつかのグループが集まって来ました。言葉少なくむなしく待ったのです。雲が切れることは無かったのです。明るる日同じ山をぐるりまわって善光寺方面へ向かいました。

<短歌を始められたきっかけ>

始めたのはいつ頃と言うのは難しいですが、中学の国語の授業で教えられ作ったのが最初でした。課題を与えられてわけも解らず作ったものでした。卒業してからも折にふれそれらしいものを作ったりしていました。全く自己流です。でもそれが楽しかったのだと思います。色々な作品を読んでみたくて豊橋市の公募に投句し作品集を手に入れました。そんなことです。だから今回は賞をいただく事になってびっくりしています。本来、川柳で師や会友を得ていたのですから。思いがけない事です。ありがとうございます。

【川柳の部】

月あかり受けて米寿の一人酒
竹本カヲル

(竹本さんコメント)

コロナで自粛の生活を続けております。中秋の名月は友と月見で一杯と決めておりましたが、残念、雨でお流れ…ポッカリと浮かぶ月の美しさ、少し欠けていましたが、やさしくあたりを照らしていました。ひとり月見も味なものど決め、月と乾杯。「お月様いくつ」「月が出た出た」など唄いながら来年は中秋の名月が見られるだろう。ちょっとセンチな老いなり。平和な日本に感謝です。

<川柳を始められたきっかけ>

友に川柳に誘われて軽い気持ちで始めました。その後豊橋番傘の仲間に入れていただきました。なかなか思う句が出来ません。そんな時、先生に「身の周りから」と教えられ、自分、家族、身近な事、愛、悲しみ、苦しみ、面白さを句に折り込みながら作句、呆け防止にも一役です。20年過ぎて大変ですが楽しみです。

【俳句の部】

お座りもあんよも出来て月の客
小林秋風

(小林さんコメント)

私は77歳になります。娘は西尾市の農家に嫁いでおります。数日前孫夫婦が取れたばかりの新米を携えてよちよち歩きの曾孫を連れて遊びに来ました。コロナ禍もあって一年ぶりでした。暫しの団欒の時、ふと二階のベランダで空を見上げると、きれいなお月様が出ていました。私はお月様に向かい曾孫が元気に育ちます様に、孫達が幸福に暮らせます様にお月様に思わず両手を合わせて祈りました。その時ふと浮かんだのがこの句です。

<俳句を始められたきっかけ>

私は15年前脳梗塞で倒れて右半身が不自由になりデイケア通いをしております。10年前デイケア仲間から誘われて狂俳を始めました。そして5年程前同じデイケア仲間から狂俳が出来るなら俳句をやってみませんかと誘われて俳句を作る様になりました。病気になる前は仕事一途でおそ文学には縁の無い私でしたが17文字に自分の想いを込めて文章を作る楽しさに気がつき今では狂俳と俳句の二本立てでやっています。私の影響もあって、妻も一年前から始めました。今回は夫婦で入選する事が出来ました。本当にありがとうございます。これからも夫婦仲良く二人で俳句を楽しんでいきたいと思ひます。

秀逸作品ご紹介

【短歌の部】

何時頃か手渡ししない回覧板満月の夜をポストに泊る
久野敦子

呆け進む母の繰り言溜まり来ぬ放ちやりたし月無き宙へ
中村佐世子

お月見に父の切りたる竹壺に井戸水汲みて母薄活く
山内邦子

【川柳の部】

名月に抱き上げし子とわらべうた
竹尾眞弓

生も死も所詮はひとり月を見る
鈴木昌宏

十五夜をスマホで愛でる人の波
八甲田さゆり

【俳句の部】

他愛なき話の尽きて月を待つ
大河美智子

月代やふつと日の香の草そよぐ
佐藤英子

自らを少し咎めて月を待つ
鈴木昌宏

学生の部 優秀作品ご紹介

【短歌の部】

窓すらも開けられぬままカブールの少女ら想う満月の夜
高柳ポール杏音

入選作品集を配布しています。

今回のお月見会の入選作品集を、三の丸会館、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場で無料配布しています。

財団加盟美術団体選抜展のお知らせ

豊橋文化振興財団に加盟する写真並びに書道の団体による合同展覧会です。作品約200点を展示します。ぜひご来場ください。

と き ● 令和4年2月15日[火] ~ 2月20日[日]

9時 ~ 17時(最終日は16時まで)

と ころ ● 豊橋市美術博物館第1 ~ 3展示室

▶ 入場料 / 無料

▶ 参加団体 / 写真: フォトクラブ「楽々」、中日写真協会豊橋支部、写真集団・四季風、書道: 泥泥舎、洗心書道会、澄心会書道、邦友会、日本習字、香風書院、一穂会、豊橋楽書会、瑤玉印社、三河書芸会、自然の会、華友会(順不同)

▶ 問合せ / 豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211



伊藤里佳

「flowers 6」

255×204mm モノプリント 2021

(作家情報)

1981年生まれ。函館、豊橋で幼少期を過ごし、油画、版画を学び、版画の作品制作を中心に、講師や、イラスト、デザインの仕事を手がける。2児の母であり、家事と育児、仕事の合間に制作を続け、愛知県を中心にアメリカ、タイ、イギリス、東京などでも展示を行う。豊橋にある好きな公園は大池の史跡公園。名古屋在住。

「モノプリント」という版画の技法で制作しています。版画ですが、金属の板に筆で絵を描いたものを紙に写し取っているため、1枚しかありません。

この、flowersのシリーズは、6枚あり、繰り返しのよう毎日だけ少しずつ変化があったり、物事に二面性があったりということを考えながら制作しました。

心が気持ち良くなるような作品を作っていきたいと思っています。そして、小さな幸せを積み重ねて大きな幸せになっていくことを願っています。

番外編 リレーエッセイ ほっと豊橋

今回のリレーエッセイは、インタビュー形式でお届けします。

豊橋出身で長らくビジネスマンとしてフランスで活躍する傍ら、合気道/草木染・植樹/音楽などを通じて日本とフランスの文化交流に尽力されてきた黒川忠満さんにお話を伺いました。

一黒川さんの経歴を教えてください。

私は1940年に豊橋市船町に生まれ、小中高と豊橋で育ち、東京の大学へ進学しました。

中学の時に柔道を始め、大学時代も柔道を講道館で続けていました。大学を卒業後、(株)日立製作所で勤務したのですが、会社に入るとスポーツはゴルフばかりになってしまいました。武道をまた始めたいと思っていたちょうどその頃、合気道養神館の最高師範(10段)の寺田精之先生と出会い、合気道を始めることになりました。私が35歳の頃でした。その後、フランスのオルレアン市で7年半仕事することになるのですが、フランスは合気道がすごく盛んなのです。仕事は忙しかったのですが、フランス人と同じ様に17時以降はプライベートなことに過ごすことができました。合気道指導などもそのうちの一つです。

一豊橋市とフランスの架け橋としても活動されていますね。

2003年に豊橋市から草木染をフランスに紹介してほしいという話がありました。また、桜の木を愛でる習慣がフランスにはないので、オルレアンの公園に桜の木を植えたかどうかという事になりました。

草木染は豊橋で活躍する石井よしさん

(浅葱の会)と相談して実現することができました。そして桜の木を植える事は豊橋総合動植物公園の菅沼さんと相談して、色々な大きさつはありますが、ソメイヨシノを植えました。これについては菅沼さんご指示の下、正しい方法で植樹しました。私は日立コンピュータプロダクツヨーロッパ社長の立場で協力でき、在仏、オルレアン及びオルレアン近郊の日系企業社長に呼びかけ協力していただきました。

その後、お花見もちゃんとやりましたよ。日本酒もゴザもないので、ここはフランス流という事で椅子に座ってワインでお花見したのはいい思い出です。

一豊橋のフェスティナ・レンテ合奏団と共にフランス・イギリスに演奏へ行ってみたいです。

私はフェスティナ・レンテ合奏団の特別顧問も務めており、2008年に日仏通商条約150周年記念を機に始まった日仏交流第1回クラシックコンサートをフランスのオルレアン市とシャンジー市で開催しました。その後2011年、2012年、2017年とクラシック音楽を通じて交流もしてきました。2011年には東日本大震災からの復興を願ってのチャリティーコンサートとなりましたが、2012年にはフランスーイギリスの演奏計画作成などは昔のビジネス経験が活かしていますね。

一フランスを通して日本文化をどのように感じますか?

和の武道は相手をやっつけるという事ではないんですね。合気道も勝った負けたの試合ではないし、敵味方という関係でもありません。合気道では押されたら押し返すのではなく、むしろ相手と一体になる事が大事なことです。対立ではなく調和が大切なのです。

日本の文化は調和が基本ですね。

財団20周年記念式典・表彰式を開催いたしました。

11月3日に財団設立20周年記念式典を行いました。式典では今年度の豊橋文化賞・豊橋文化奨励賞の受賞式も行われ、豊橋文化賞は民謡歌手で伊藤民謡会家元の伊藤陽扇さんに、豊橋文化奨励賞は舞踊家でASANOインターナショナルバレエ主宰の浅野純子さんへ贈られました。

また、会場入り口では、財団20周年記念誌も配布されました。この20年のみならず豊橋文化協会設立時からの歴史を振り返ったものとなっており、現在、豊橋市民文化会館、穂の国とよはし芸術劇場の窓口で無料配布しております。ご希望の方がいらっしゃいましたら、お気軽にお声がけください。



中央:伊藤陽扇さん 右:浅野純子さん 左:藤原俊男理事長



— 目次 —

- ◆挨拶・祝辞
- ◆理事長経験者鼎談
- ◆むかしの話
1933-2000
- ◆財団設立20年のあゆみ
2001-2020
- ◆みらいの話
- ◆資料

新春文化団体交流会のお知らせ

新春文化団体交流会を2年ぶりに開催いたします。変異種の動向もありまだ安心できないというご意見もあろうかと存じますが、県内・市内の状況は十分抑え込まれており、新型コロナウイルスにより停滞を余儀なくされた地域の文化活動を、改めて皆さまと連帯して盛り上げていく契機になればと存じます。

なお、全テーブルにパーティションを設置するなど、十分な感染症対策を実施した上で開催するとともに、開始時間を従前より1時間繰り上げ、午後4時開始を予定しています。

ぜひ、各団体お仲間をお誘いしてご出席くださいますようお願い致します。

と き ● 令和4年1月28日[金] 16時~

と ころ ● ホテルアークリッシュ豊橋

ガーデンサイト5階 ザ・グレイス

▶ 会費 / 8,000円(1名分)

▶ 申し込み / 年内に各団体様宛に案内状を送付いたします。出欠をご記入のうえ、ご返送ください。

▶ 問合せ / 豊橋文化振興財団 ☎0532-39-5211

